

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 えがおの教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		～ 2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 12日		～ 2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を十分に理解した専門性(保育士・学校教育者・社会福祉士等)の高い職員を配置し、個々の支援内容について日々情報共有し、チーム一丸となって支援に当たっています。	毎日のミーティング等で、子どもの特性を理解し、保護者と子どもの状況や課題を伝えあい、支援につなげています。また、モニタリング等で出された学校や家庭や関係機関での様子をその都度全職員に回覧し、情報共有と支援の内容を確認しあっております。	さらに子ども一人一人の特性を理解し、いろいろな場面において人間関係や、コミュニケーション手段、社会性が身に付けられるよう保護者・職員と情報共有し、子どもたちの成長を見守っていきけるよう努めてまいります。
2	一人一人抱えている課題や、障害の特性に配慮した個別支援を季節や、状況に合わせていろいろな工夫をして支援を行っています。	子どもの障害特性に合わせたイラストなどを用いたの視覚支援の実施や、いろいろな取り組みをスケジュールに積極的に取り入れ、一人一人の子供に合った感性を育てています。	子ども達の一人一人の個性を大切に尊重し、計画、支援内容をさらに確認しあい、支援を深めてまいります。
3	子ども・保護者・支援者がいつも笑顔を大切にできる温かい教室を心掛けています。その中でも子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる場所の提供に努めています。	生活空間における安全面や、衛生面等においては、十分に気を付け、安心して過ごせる環境づくりに配慮等を行っております。	ご本人や保護者の方が安心して利用できるよう、いろいろな場面を想定しながら支援してまいると共に、この教室に来てよかったと思っただけのような楽しく、えがおになれる活動を職員一同考えていきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等が設置されていないため、保護者間の活動の場が少なく、保護者同士の交流が少ないことです。お楽しみ会として保護者の方に声をかけ、交流の場を設けたところとても喜ばれたので今後増やしていきたいです。	保護者の方の多くは仕事をしているため、時間が合わないかと考えておりました。また感染症(コロナ・インフルエンザ等)の予防対策として、集まることに対する不安もありました。	今後保護者の方のニーズ等もお聞きしながら必要に応じて交流会等を開催していく事も考えてまいります。楽しく参加しやすい内容にしたいと思っています。
2	児童クラブや児童館、地域の子ども達との交流や、事業所の行事に地域住民を招待すること等は積極的にできていません。	放課後の決まった時間のご利用のため、地域の子ども達との交流や、地域住民への声掛け等は、難しいという消極的な考えを持っていました。	時間や場所等を工夫して、ご本人やご家族の意見も加味しながら、一人一人が楽しく活動できる用、交流の場を設けることも必要だと思っています。
3	保護者との面談や、相談の中で支援の内容や対応について、共に考え情報共有していますが、家族等の参加や、意見を聞く場を積極的に設けていません。	父母の会の設置がなく、保護者全体のペアレント・トレーニングや研修会などの研修は難しいと考えていました。	家族が参加できる研修の情報提供は行っていますが、ペアトレ等の内容を積極的に伝えられるよう、努めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所 えがおの教室

公表日 2025/1/26

利用児童数 19人

回収数 14人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4			身体の大きい子供達が走っているのを見ると、少し狭いかなと思います。	子どもの成長により、スペースの確保が難しい時もありますが、できる限り安全にかつ安心して活動できるように努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	1	1	長期休暇だけ利用していますが、利用時間を延ばしてもらえるとありがたいです。	基準以上の人員を配置、また専門職を配置し、支援を行っています。要望は前向きに対応します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1				プレイルーム、学習室など、子供たちにわかりやすい環境を整備し、個々の障害特性に応じた配慮もできる環境づくりに努めております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1		1		子ども達の活動に合わせた空間づくりに努めております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	2		1	一人一人に合わせた支援はすごく大変だなあと感じています。	それぞれの個々の特性を全職員が把握し、専門的な視点から支援を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1				公表している支援プログラムを把握し、提供する支援内容が合うように努めております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				本人や保護者の思いが反映されていると思います。	職員全員で子供たちの事を理解し、課題を分析したうえで個別計画の作成に努めております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		1	帰る時に本人が良い表情をしているののだと感じています。	個別支援計画を作成するうえで子どもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1		1		放課後等デイサービス支援計画に沿った支援ができるように努めております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			2	十分に工夫されていると思います。	子どもの発達状況や個々の障害特性に応じて柔軟に組み合わせる支援できるように努めております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	1	4		今後ご本人や保護者の方と、地域のニーズを確認しながら交流できればと思っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					最初の利用説明時には、規定・支援内容・利用負担等の丁寧な説明等に努めております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				個別支援計画書を確認していただきながら支援内容の説明をすることに努めております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	1	1	なかなか参加できず、すみません。	家族の方等が参加できる研修会や情報等の提供に努めております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				個々の毎日の提供記録やお迎え時での口頭により日々の活動内容や体調等の状況を伝え、保護者との共通理解に努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				モニタリング以外でも面談や相談等があるときは、対応できるよう努めております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					職員一同、共感的な支援ができるよう努めております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	12	1		1	お迎えと一緒にいくと、声をかけてくれるので上の子も嬉しそうです。他の親子さんを見たり、話したりする機会があって良かったです。	父母の会は設けておりませんが、地域の人権擁護委員会の方や、編み物の会の方たちとのイベントで兄弟姉妹同士の交流ができるよう努めております。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		2		苦情受付体制を整備し、窓口担当等については事業所内に掲示し、その他の相談においても日々の対応の中で迅速に対応できるよう努めております。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					利用時の提供記録やモニタリングを通して、保護者との意思の疎通や情報伝達に努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1				定期的に加えお通信を発行し、写真等で子どもの活動内容がわかるように努めております。また自己評価結果は、保護者の方に文書で報告し、HPでも発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2			されていると信じています。	個人情報については職員一同十分に気を付けております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1				それぞれの対応マニュアルは常時、誰でも見やすいように玄関に設置しております。また火災や地震等を想定した訓練も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1				火災や地震発生を想定し、避難訓練を実施しております。また、消防署見学などを実施し、防災意識を高めております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1		安全計画に基づき、定期的に事業所内の重点箇所点検を行ったり、緊急時対応し、安全の確保が十分に行われたうえでの支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		2		緊急時には速やかに連絡を入れ、保護者に状況説明をする等の対応に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			2	とても楽しみにしています。	毎日職員一同、安全で安心して利用していただけるよう努めております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13			1		常に職員が一人一人に応じた支援を心掛け、楽しく過ごしていただけるよう努めております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				いつも感謝です。	引き続き満足していただけるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス事業所 えがの教室		令和8年1月26日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用時間が子どもにより異なっていたり、それぞれ活動内容も様々なので、現状の各スペース(ホール・学習室等)を工夫しながら対応しております。	個別や集団等、それぞれの活動によりスペースを適切に使用できるよう対応に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国の基準以上に適切に配置し、保育士や教員免許、社会福祉士等の専門的な視点を持った職員が支援を行っております。	長期休暇並びに土曜日の配置については通常より支援員を増員していますが、今後検討すべき課題もあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		館内はバリアフリー化されているが、内玄関に対しては簡易スロープを必要時に設置し、随時適切に対応している。	生活空間の改修等が難しく、障害特性に応じた視覚支援が少ないと思います。今後はさらに子どもにわかりやすい環境にするよう努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援終了後は消毒・掃除等を行い、清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別に対応できる環境づくりに努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		勤務体制上、全員が参画していないため、広く職員が参画できる機会を増やしていけたらと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価等を保護者に報告し、公表すると同時に職員で内容等の把握を行い、業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		自己評価アンケート実施や、ミーティング等において意見交換等を行い、日々の支援業務改善につなげております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていないため、今後は第三者も取り入れていく事も検討課題とします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			勤務時間を考えると難しいが、オンデマンドなどの利用で工夫しながら、研修を受講できるよう検討していきます。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援プログラムを作成、公表しております。今後振り返りもしていきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々の子どものアセスメントを行い、ニーズや課題を分析し、計画を作成しております。今後は計画を職員全員に共有できるよう努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個々の状況に応じて、支援にかかわる話し合いは増え共通理解に努めております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画に沿った支援についてはさらに共通認識を高めていくよう努力してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールや日々の行動観察を含むインフォーマルなアセスメント(提供記録等)を使用し、確認しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定しております。	職員全員に対して具体的な支援内容を共通理解するよう努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		様々な意見等をミーティング等で出し合い、プログラム立案につなげております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないよう、季節・状況に応じたプログラムを考え、活動できるように工夫しております。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動や集団活動を組み合わせた計画を作成し、支援を行っております。	どのスタッフが対応しても可能なように支援の手順書の作成も今後考えてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、必ずミーティングを実施し、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			勤務時間の都合で支援終了後の打ち合わせはできていないが、次の日のミーティングで前日の気づきや振り返りを行い、共有しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援に関して記録し、検証・改善に生かし、支援につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に個々のモニタリングを実施し、計画の見直しの必要性を判断し、行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		色々と工夫して、組み合わせさせて支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の活動の中で、自己決定できる支援に努めております。以前より子どものすること、やりたいことを肯定的にとらえた支援を重視しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子どもの状況を理解したものが参加するようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の関係機関等と連携して、支援を行う体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からの年間計画等は各学校から連絡が常にあるような体制を整えております。送迎時間等の連絡も日々調整を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			モニタリング等で情報共有や相互理解に努めてはおりますが、さらに努力します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		支援内容の情報を提供するなどしております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターの連携が密ではないため、今後機会があれば連携を図っていくよう努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			放課後クラブや児童館を併用して利用されている子どもはいますが、モニタリングで情報共有している程度で交流には至っていません。今後ニーズ等をお聞きしながら検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児童発達支援管理責任者又は管理者が参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日、保護者への報告や状況等は伝えあい、共通理解を持つことに努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族が参加できる研修や情報は玄関に置類を設置して、情報提供に努めていますが、ペアレント・トレーニングは行っていません。今後は家族支援の中でお伝えできるよう努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に丁寧な説明に努めております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		日々の活動時やモニタリング等において子どもやご家族の意向を確認し、放課後等デイサービス提供の作成に努めております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった時は必要に応じて保護者の方と一緒に考え、適切に対応しております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者会等は設置していませんが、きょうだい同士と地域の方での花植えなどの交流をしています。今後もう少し交流の場を増やせるよう努めてまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決の体制を整備し、窓口を設置しております。館内に内容を提示し、迅速かつ適切な対応に努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に通信し、HPなどを活用することで活動概要や連絡等の報告をしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員一同、十分に気を付けております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚カード等、いろいろ工夫して配慮に努めております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の行事や講師を招いての活動は実施していますが、事業所の行事に住民を招待することはできていないため、今後は地域に開かれた事業所として検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるよう玄関に設置しております。また、火災、地震の訓練は定期的に行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP計画を策定し、火災・地震等の訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用時に子どもの状況は把握し、状況が変化した場合、その都度保護者に確認し、全職員と共有しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用前には医師からの指示書が家族に出されているため、家族が記入するサポートブックで確認しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全確保の体制を整備しております。	不審者対応等の訓練についても積極的に検討してまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく内容を保護者等にお伝えし、家族との連携が図られるよう努めてまいります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県主催等の研修会には参加しております。また社協全体での研修機会を実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束マニュアルを法人で整備しております。その都度保護者の方には十分に説明し、理解を得るよう努めております。		